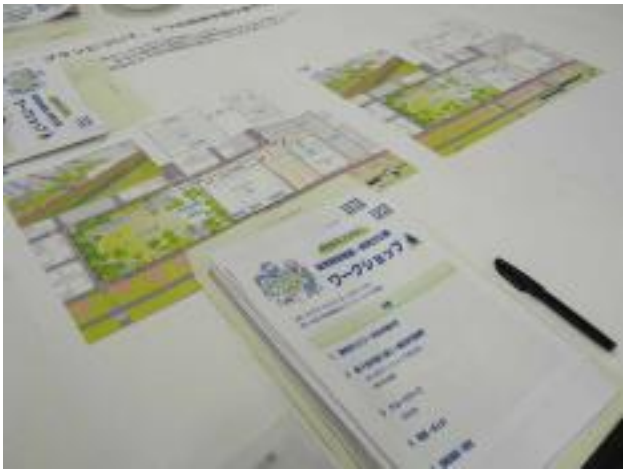
みんなでつくろう！新市民体育館・新荒川公園ワークショップ 第４回 まとめ

概要	
日時	令和８年７月４日（土）14:00-17:00
場所	男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室
参加者数	40 名













検討状況説明後の質疑応答記録

※オレンジのアミカケは WS 終了後の熊谷市からの回答

質問	回答
酷暑対策と環境への配慮について 荒川公園は気温が低く酷暑対策として有効だが、体育館の排熱はゼロカーボン宣言に反するのではないか。また、再生可能エネルギーの利用はどう考えているか	既存の樹木を可能な限り残し、サブアリーナの開放や水遊び場、屋根付き広場の設置などにより暑さへの対策を考えています。 また、再生可能エネルギーを導入した ZEB 化等を検討します。
体育館の規模（サブアリーナ）について 元々サブアリーナが必要という意見はあったのか。当初の案からサブアリーナがバスケットコート 2 面に増えた経緯と理由は何か	これまでのワークショップで様々な案を提示し意見をいただく中で、サブアリーナは必要と考え、建て替えの整備期間中も現在と同じように大会や市民利用を継続させるためには、メイン 3 面・サブ 2 面が必要と判断しました。
人口減少下での稼働率と維持管理費について 人口が減る中で大きな体育館を 2 つ作り、どのように稼働率を上げるのか。将来の維持管理費が私たちの子ども世代の市民の負担になるのではないか	これまで市民利用と大会利用があり、重なるとどちらかを諦めていました。メインとサブが分かれることで、大会の開催と同時に市民利用も可能になり使い勝手が向上する。稼働率が上がれば収入も増え、コスト負担を抑えられると見込んでいます。
浸水対策と避難所機能について 浸水想定区域（浸水深 1.6m）での 1 階アリーナ整備や、水害時の避難所としての機能に不安がある。かさ上げをすると圧迫感が増すのではないか	国交省のシミュレーションデータに基づき、建設時に高さ 1.6m を考慮すれば 1 階も活用できる可能性があります。水害時の避難については、2 階の固定席を避難所として活用する考えです。
盛り土の計画の詳細について 1.6m の盛り土をした場合、スロープなどで上がれるのか？どの部分を盛り土にするのか？水の通り、風の通りを意識してほしい	盛土をするかどうかはまだ検討中です。 ※浸水想定深に対してどのような対応を取るかを含めて検討中です。
避難した際に 2 階の座席で寝たくない	避難所としての運用は今後検討します。
予算と盛土について 議会答弁で盛土の話があったが、提示された予算に含まれているのか	提示した費用に盛土の費用は含まれていません。
周辺環境への影響と請願の反映について イベント時に人や車が溢れて住環境が悪化するのではないか。また、令和 5 年に議会で採択されたコンパクトな体育館や住環境への配慮を求める請願はどう反映されているのか	昨年度の交通量調査で渋滞への影響は少ないとの結果が出ています。請願や市民の声を計画に反映させるために、今回のワークショップやアンケートを実施しています。
公園機能の維持とイベント時の利用について 公園のフリースペースを残す案も検討してほしい。桜まつりや花火大会時の利用者の居場所やト	イベント時の利用については、かわまちづくりとの連携なども含め、周辺と合わせて工夫を検討します。建築計画の中でトイレ等の改善も検討していきます。

イレ不足が心配である。自由に使える場が減ると熊谷の魅力が減るかもしれず心配である	
ワークショップの意見の反映について 市民はコストが安く使いやすい適正規模の体育館を望んでいたが、これまでの延べ 10 時間以上の議論が今回の案にどう集約・反映されたのかが見えず、不信感がある	様々な相反する意見や要望がある中で、1 つの案にまとめていくことが難しいため、意見を 3 つの価値として整理し、機能や配置のベースにしています。結論に至るプロセスが分かりにくかった点は真摯に受け止めます。
WS で様々な意見を出したがどう活かされているかが分からず、都合の良いところだけえらんでいないか？WS で出した意見を無視しているように感じる	
本当に市民の意見を参考にしているのか？ 市民の意見の中には、確かに「大きい体育館が欲しい」という声もあるが少なかったと思う。一方で「市民も使いやすい体育館」が欲しいという声が多かったように感じる。この声はどこに行ってしまったのか。千葉大学の池邉先生は「排熱はまちに流れる」と言っていた。バスケ 3 面は常に使用されていないとペイできない。また白紙になったら体育館はできない。「市民のための体育館」が欲しい。情報公開請求をして入手した 4/7(火)の記録には E,F 案について読むと、市は体育館を小さくしたくないのではないかと感じた。	市民の声を聞きながら検討をしている中での、その一部のやりとりです。
２案に至った経緯や他の案について 案が似ているように感じるが、他にも様々な案はつくらなかったのか？公園のスペースを残した案も考えられるのか？なぜ 2 つに絞ったのか結論が分からない	今回の WS で出た声を次回の協議会に報告し、協議をしていきます。 WS の意見やこれまでの調査結果、アンケート結果を踏まえ、機能、規模、配置、コスト、継続利用、防災などの様々な条件を整理した結果として 2 つの案を作成しました荒川公園の敷地を一部使いながらも、公園スペースを可能な限り確保した案を検討します。今後、これまで検討してきた案を含めてプロセスをわかりやすく示せるよう努めます。
既存施設を利用している障がい者団体等への意見聴取について 荒川公園や体育館を障がいのある方も利用しているが、そういった方々の意見や声を聞いて欲しい	様々な方々の意見を伺いながら検討していきます。
屋上へのアクセスについて 屋上緑化へのアクセスの確保はできているのか？	エレベーターやスロープといったバリアフリーのアクセスを確保します。
駐車場の規模の考え方について	現在と同じ台数としました。現状でも足りていないという意見は把握しています。

サウンディング調査から駐車場の規模（必要台数）を満たしていない。案では駐車場の規模は 70 台だが、100 台は必要ではないか。	
整備期間中の体育館利用継続の検討について 整備期間中の体育館利用を確保する方法は 2 つの案以外にないのか？複数カ所に分けられないのか	現在の市民体育館や他の施設の利用状況を踏まえると、年間 9 万人の利用を代替できる施設はないと考えています。
地域経済の豊かさと自然を守る施設について 個人経営が多く地域経済が豊かなまちと自然を守ることが可能な施設になるのか	地域経済の視点でのにぎわいとみどりや自然を感じられる再整備を検討します。
用途地域変更による夜間照明の考え方について 現状は第 1 種住居地域だが用途地域変更によって夜間照明の時間も変わるが、現状と同じ基準にできないか	用途地域は、建築物の用途や容積率、建蔽率などを定めるものであり、夜間照明の点灯時間や照度などの基準を定める制度ではありませんが、荒川公園及び市民体育館の夜間照明については、設計・運用の両面から近隣の住環境に配慮します。
体育館をここに再整備する必要性について 熊谷市内に大きいスポーツ施設はあるのに、なぜここに建てるのか？	荒川公園周辺は、熊谷駅周辺という強みを生かし、市民のスポーツ・文化活動や交流人口の拡大を図る拠点として考えています。
熊谷の顔になる施設になるよう要望 駅近のメリットを生かして熊谷の顔になる施設にしたい	荒川公園周辺は、熊谷駅周辺という強みを生かし、市民のスポーツ・文化活動や交流人口の拡大を図る拠点として考えています。新たな「顔」となる施設となるよう検討します。
既存樹木を残すよう要望 既存樹木をなるべく残したい	既存の樹木を可能な限り残します。

モデルプランについて、３つの価値を振り返りながら、意見交換しよう

●評価軸の論点を見直し、前回までの意見を反映する必要がある

○評価軸について、論点がずれていたり、前回までの意見の反映が無いように思われる

●具体的な設備や整備内容を示して欲しい

○具体的な設備、整備が分からない

●①案・②案のどちらでも良い

○①案・②案どちらでも OK

●②案をベースに改善してはどうか

○②案をベースに改善していけると良い

●文化センターや小学校など、周辺を含めた一体的な検討が必要

○文化センターや小学校などの場を活用することも検討されているのか

○文化的なエリアの中のエリアとして、周辺を含めて一体的に検討する必要がある

●桜木小学校と連携し、将来的な体育機能の拡張も考えてはどうか

○桜木小学校と連携して使うと良い

○将来的には体育機能を小学校に拡張することも考えられるのではないか

●周囲の体育館やスポーツ施設を代替施設として活用してはどうか

○体育館の利用継続を担保した案ということだが、桜木小学校の体育館など、周囲の場所の活用も検討してはどうか

○市の体育館で代わりに使えるのが大里のみだが、補助金を出して熊谷ドームを使うのはどうか

○他にもスポーツ施設はあるため代替できるのではないか

●既存の建物と同じ位置・面積・規模での再整備案も必要

○既存の建物と同じ位置、面積での再整備案も考えて欲しい

○今の体育館の規模での建て替えではダメなのか

●現在の敷地ではなく、荒川公園以外の場所への整備も検討したい

○体育館は現在の敷地に整備しない方が良いのではないか

○荒川公園以外の場所により大きな施設をつくってはどうか

●利用者増加が見込まれる駅近や新幹線が停まる立地を活かしたい

○駅近の立地はイベント誘致しやすく、体育館の利用者増加に繋がる

○関東で駅に近い敷地は少ないので活かしたい

○新幹線も停まる駅近の体育館というメリットを活かした方が良い

●多くの人が訪れる施設は、駅前以外に整備してはどうか

○多くの人が訪れる施設は駅前ではない方が良い

●熊谷市のシンボルとして、他市と同等の施設が必要

○熊谷市のシンボルとして他市と同等の施設が必要

●熊谷駅から体育館や河川敷までつなぐことが望まれる

○駅からペデストリアンデッキで体育館や河川敷までつなげる

○熊谷駅から荒川の土手にかけて大型開発してはどうか

●体育館の規模や面数は、稼働率を踏まえた検討が必要

○体育館の規模は適正なのか

○メインアリーナに 3 面横並びで配置する必要はあるのか

○現状の体育館の稼働率の確認とそれを踏まえて再度代替案を検討して欲しい

○2 面から 3 面に増やして体育館の稼働率は上がるのか

○規模が適正でないのではないか

●現在より大きく、面積の広い体育館が良い

○スポーツをやっている人からすると、現状の規模では少し小さい

○子どもはより大きな体育館を求めている

○体育館の面積が広いのも良い

●メインアリーナを 2 面にし、フリースペースを確保してはどうか

○多目的スペースは機能を追加してメインを 2 面にし、サブは小さい体育館＋公園にしてはどうか

○②案のメインアリーナは 2 面にして、メインアリーナ側に駐車場ができ、公園側はフリースペースになると良い

●スポーツだけでなく、書道展など多目的に利用できる施設が良い

○体育館という専用施設としての利用だけでなく、書道展など多目的に使える市民の場になると良い

○メインアリーナの用途をより多目的にしたい

○体育館の利用シーンがスポーツばかりなので、他のシーンも示して欲しい

●武道場を 2 面ずつ設け、アーバンスポーツにも利用してはどうか

○武道場のつくりは 2 面ずつあると良い

○サブアリーナでアーバンスポーツができると良い

●利用継続のためには、サブアリーナが必要

○メインとサブをつくるのは利用継続のために必要であり、これを機に公園も綺麗になると良い

○サブアリーナの継続利用は大切

○充実したサブアリーナをつくって欲しい

○利用団体からすれば、サブアリーナがあるのはとても良い

●サブアリーナの必要性を見直し、規模を小さくしてはどうか

○サブアリーナの必要性を感じない

○サブアリーナをより小さくして欲しい

●サブアリーナに公園、遊び、カフェなどの機能を持たせたい

○必要性を感じない人もいるからこそ、サブアリーナは多様な目的で利用されることが大事

○②案のサブアリーナを公園の子ども達が自由に使える場やボルダリングなどの遊具を設置したり、カフェを併設してはどうか

○②案のサブアリーナに公園の機能を持たせたい

○②案のサブアリーナに水飲み場や裸足で遊べる場を導入してはどうか

●メインとサブをつなぐ部分を広げ、間の道路を残すことが望ましい

○サブアリーナとメインアリーナを繋ぐ部分をさらに広げて有効活用して欲しい
○サブアリーナとメインアリーナの間の道路が残って良かった

●現在の公園、広場、グラウンドを今まで通り使えるようにする必要がある
○広場や公園も今まで通り使いたい
○今公園のグラウンドを使っている人への対応を知りたい
○公園の広さは現状のままが良い

●さくら祭や花火大会の代替策を示す必要がある
○公園はさくら祭、花火大会でも活用されているが代替策はあるのか

●公園、サブアリーナ、川を一体的につなぎ、滞留できる場所にしたい
○公園とサブアリーナエリアの一体感があると良い
○公園と川との連続性が欲しい
○②案は公園とサブアリーナを一体的に使えて良い
○①案には滞留スペースがない
○小規模ながらも市民のための公園になると良い

●屋根付き広場やトイレをサブアリーナ横に配置し、共用してはどうか
○公園のトイレをサブアリーナと重複しているので集約できると良い
○②案の屋根付き広場をサブアリーナ横に置いても良いのではないか
○②案のトイレはサブアリーナ横に持っていってサブアリーナと共用にしてはどうか

●ランニングコース、複合遊具、魅力的な噴水が欲しい
○周回のランニングコースができないか
○公園の遊具は様々なものを組み合わせた複合遊具を置いて欲しい
○ただ噴水があるだけでなく魅力的にして欲しい

●自然、大きな木、並木、生物多様性をできる限り残して欲しい
○屋上緑化は公園のみどりの代わりのような印象を受けたが、生物多様性も含めた自然を守る視点を取り入れて欲しい
○自然をできる限り残して欲しい
○公園エリアが今の案では狭く、大きな木を確保して欲しい
○東側の並木は樹木の根が広がるのか心配である
○住宅街への影響を軽減する、駐車場と住宅街に挟まれた北側の並木を残して欲しい

●排熱を抑え、ミストや常緑樹などによる暑さ対策が必要
○モデルプランを進めることでまちがより暑くなるのではないか
○①案のメインアリーナの排熱が心配
○水景施設もあるが、エリア一体にミストを設置してはどうか
○芝生広場を常緑樹にして常に緑を保てるようにする
○健康器具には暑さ対策が必要

●屋上を本気で緑化し、子どもが遊べる場所にしてはどうか
○建物の屋上は、気温が下がるくらい本気で緑化する
○屋上緑化は子どもが遊ぶことができるので良い

●屋上緑化の必要性と維持管理の方法を検討したい

○屋上緑化はしなくても良いのではないか
○屋上緑化は誰がどのように維持することになるのか

●屋上に太陽光パネルなどを設置してはどうか
○メインアリーナの屋上に太陽光を乗せるのはどうか
○緑化ではなく太陽光パネルやジーゼルにしてはどうか

●建物の高さや配置に配慮し、桜の景観や並木を守る必要がある
○建物の高さによって、土手から桜を見るときの景観が失われ、魅力が落ちるのではないか
○建物の高さはどのくらい必要なのか
○①案は公園の並木と建物の配置が良くない
○圧迫感があるので、①案で公園の並木横に大きい体育館が来るのは良くない

●圧迫感の少ない②案が良い
○北側の住宅への圧迫感は解消できるので、案②のほうが良い
○②案の方が圧迫感が少ないのが良い

●住宅地への圧迫感や反響音に配慮し、設備の配置を工夫する必要がある
○サブアリーナ前の道路へ圧迫感が出ないように配慮
○体育館が建つことで、住宅街への反響音の影響が心配
○遊具の置き場所等も住宅地に配慮する
○室外機は河川側に置いて欲しい

●体育館によって川風が遮られないようにして欲しい
○施設の重要性は分かるが、それに伴い川風が遮られてしまうのが心配

●駐車場の台数を確保し、体育館の下への配置も検討してはどうか
○駐車場は 70 台では足りない
○駐車場は体育館の下に入れてはどうか

●駐車場を必要最低限にし、緑地面積を確保する必要がある
○駐車場の地面が舗装されて、緑地面積が減ることが気になる
○駐車場の利用は必要最低限とし、駐車場の規模を削りたい

●駐車場を公園と一体的に整備し、公園利用者と共有したい
○駐車場は周りと馴染むようにみどりを生かしたものにしたい
○駐車場は大勢の人の目につくようにして、公園と一体的に使いたい
○公園利用者との駐車場の共有

●浸水の危険がある河川敷を避け、土手の内側に整備する必要がある
○河川敷の駐車場は浸水の危険などからやめた方が良い
○荒川の増水が心配なので絶対に土手の内側に整備して欲しい

●盛り土やピロティを採用し、耐震性や防災性を高める必要がある
○盛り土は立地上・安全上絶対に必要
○耐震性が高い体育館が早く欲しい
○防災上、機械室を 1 階に置かない方が良い
○盛り土をするならピロティ式が良い

●建物だけでなく、運営についても検討する必要がある

〇建物を建てる話しかしていないが、運営の話をしなくて良いのか

●ランニングコストや平日利用を踏まえ、経済性を確認して欲しい

〇現状の案はランニングコストから経済性が成り立たないのではないか

〇平日利用が増えないとペイできないのではないか

●自動販売機の料金を安くし、盲導犬のトイレを分かりやすくして欲しい

〇施設内の自動販売機の料金は安い方が良い

〇盲導犬のトイレを分かりやすくして欲しい

●SL 展示だけでなく、ほかのアートも取り入れてはどうか

〇SL 展示だけがアートではないと思う

●駅前に五家宝タワーをつくってはどうか

〇駅の前に五家宝タワーを作る

今後の検討で大切にして欲しいことを出し合おう

●ワークショップの目的から話し合い、もう一度実施してはどうか

○ワークショップの目的が達成できていないため、もう一度ワークショップを行うべき

○ワークショップの回数を増やしてでも、目的から話し合いができるとよかった

○前半の全体議論をより早いタイミングでできると良かった

●市民が納得や理解をし、意見を積み上げながら進める必要がある

○ワークショップに参加している市民が納得や理解をした状態で進めるべきではないか

○自由に意見を求められているだけの印象だったが、ワークショップは本来意見を聞いて積み上げながら進めるべきではないのか

○今までの議論を踏まえて納得する案や説明が欲しい

●ワークショップをアリバイづくりや市のために利用しないで欲しい

○ワークショップがアリバイづくりにされているのではないか

○熊谷市に WS を利用されているように感じる

●今日の検討内容や意見の反映先が分かるように示して欲しい

○今日の検討内容を含めてしっかり考えを示して欲しい

○進め方について、意見がどこにどう反映されているか分かるようにする

●情報をすべて開示し、市が優先したいことを明らかにして欲しい

○情報は全部開示して、隠さないで欲しい

○市が一番優先したいことが何なのかわからない

●排熱、風、空気への影響と対策をデータで示して欲しい

○排熱の問題をどう解決するか対策を含めて説明が欲しい

○風や空気への影響も一緒にデータを出して欲しい

●現在の利用者の困りごとやまちの課題を改善するプランが必要

○プランを検討するときに、現在の利用者の困りごとやまちの課題を改善するべきではないのか

●大小様々な利用団体の声を聞き、結果を可視化して欲しい

○施設を利用している大小様々な利用団体の声を聞き、結果を可視化する

●ハードだけでなく、運営やコストを含めたシミュレーションを示して欲しい

○ハードだけでなく、ソフト面を含んだ運営のシミュレーションを出すなど、コストをしっかり考える

●小規模な事業とまちとのつながりや関係を考えたプランが良い

○小規模な事業を緩やかに増やすという話があったが、まちとのつながりや関係を考えたプランにする

●周辺の取組やまちづくりとの関係性を案に示して欲しい

○周辺の取組やまちづくりとの関係性を案に示して欲しい

●市民の声を反映し、評価軸からモデルプランをつくり直して欲しい

○今回のモデルプランは市民の声が反映されていないと感じるため、評価軸からちゃんとつくり直して欲しい

●協議会で話し合われた柔軟な意見をワークショップ参加者にも共有して欲しい

○協議会で話し合われていた柔軟な意見を、ワークショップ参加者にも共有して欲しい

●リーダーシップと責任を持つ人が、市民に説明し質問に答えて欲しい

○このプロジェクトの意思決定者がわからず、その場で回答できないことも多かったので、リーダーシップと責任を持った人が、市民に説明をしたり、質問に答えるなどして欲しい

●今後も意見を伝える場を設け、市長にも見に来て欲しい

○今後も意見を伝える場を設け、市長に見にきて欲しい

●まずどんな体育館にするのか、目的をしっかり決める必要がある

○まずどんな体育館か、目的をしっかり決めないといくら話し合っても決まらない

●今のグラウンドで、公園と体育館の両方を活かして欲しい

○今のグラウンドのところを、公園と体育館の両方が活かせるように検討して欲しい

●公園と体育館の一体感を大切にして欲しい

○公園と体育館の一体感を大切にして欲しい

●公園を維持して欲しい人たちも納得するプランが必要

○公園を維持して欲しい人たちも納得するプランにして欲しい

●障がい者団体の公園利用も含めて考えて欲しい

○障がい者団体の公園の利用も含めて考えて欲しい

●公園整備にあたってビジョンが必要

○公園整備にあたってビジョンが必要

●今まで通りではなく、「熊谷やるね！」と思える工夫が欲しい

○今まで通りの考えではなく、「熊谷やるね！」と思ってもらえる工夫をして欲しい

●熊谷へ行けばどんなスポーツでもできるイメージを持たせたい

○熊谷へ行けばどんなスポーツでもできるというイメージを持たせること

●中学生や子どもが活動できる環境が必要

○中学生の部活動がなくなりつつあり子どもが時間を持て余しているので、活動できる環境が必要

●荒川公園で建て替えるなら、体育館を早く建てて欲しい

○荒川公園で体育館を建て替えるなら早く建てて欲しい

●次世代に税金の負担を残さないことが必要

○次世代に税金の負担はダメ

●維持費を賄える、稼げる体育館が良い

○維持費を賄うために稼げる体育館に

●照明や騒音は現状の基準を維持し、22 時までに制限して欲しい

○用途を変更しても現状の基準を維持して照明や騒音は 22 時までに制限して欲しい